

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジャックと豆の木 とよた		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊田市南部エリアに施設を構えた事で、今まで利用が困難だった利用者さんにも、通所サービスを提供する事ができた。今まで学校へ行けなかった児童も、受け入れを行った事で学校へ通える様になり、地域のニーズに答える事ができた。	送迎時にも楽しめるように、定期的にイベント送迎を行っている。 保護者さんや学校関係者の方にも好評をいただき、コミュニケーションの場が広がり、認知度も広がっている。	引き続き、保護者さんとの連携をこまめに図り、安全に医療的ケアを行っていく。
2	看護師が複数人在籍しているため、あらゆる医療的ケアに対応できている。	五感で楽しさを感じられるよう、さまざまな活動を取り入れている。季節を感じる事や話題の事に対しても興味を持てるように意識して取り組んでいる。	保護者さん、学校関係者、その他関係機関と情報共有し、児童全体像を把握し、より良い支援に繋げていく。
3	自宅・学校への送迎を担っており、看護師も同乗する事で車内での吸引や人工呼吸器管理など医療的ケアにも対応する事ができる。	活動中の様子が一目で分かるよう、定期的に写真で伝えるようにしている。楽しい雰囲気やお友達との関わりも具体的に伝える工夫を行っている。	感染対策や防災訓練など、施設で行っている安全管理についても積極的に伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校へのお迎えが、豊田特別支援学校1校のみの対応となっている	周辺地域校への周知不足や具体的な送迎対応の困難さ	事業拡大
2	理学療法士・作業療法士が在籍していない事	理学療法士・作業療法士に対して、事業所での働き方や活躍の場があるという事の周知不足	求人募集 事業拡大
3	医療的ケア児を多く預かるため、活動時間の縛りが生じる。外出支援の機会が少ない。	1人1人に必要な医療的ケアの対応時間が異なるため、時間の調整が必要となる。	保護者さんに協力を得て、可能な範囲で医療的ケアの時間調整を行う。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジャックと豆の木 とよた
------	--------------

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 3人

回収数 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適 切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。			2	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3					
	12 事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1		1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。			1	2		
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満 足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29 事業所の支援に満足していますか。	3					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	チェック項目	はい	いいえ	実施していない	評価者	評価年	評価月
環境	1 利用定数や発達支援要員のスペースとの関係で適切であるか。	8					
	2 利用定数やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	8					
	3 発達定数は、こどもにわかりやすく掲示された状態になっているか。また、発達定数の見直し、見直し時期の決定、利用アライメントや情報伝達、環境上の配慮が適切に行われているか。	8					
	4 発達定数は、高評で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の気持に合わせた変更となっているか。	8					
	5 広場に広げて、こどもが個別の環境や時間を確保することが認められる環境になっているか。	8					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8					
	7 発達定数や利用計画により、発達定数の変更や変更する機会を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	8					
	8 職員の間で業務改善に関する報告を設けており、その内容を業務改善につなげられているか。	8					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげられているか。	7	1				
	10 職員の間での話し合いを通じて、業務改善に関する機会や社内内で業務改善に関する機会が確保されているか。	8					
	11 適切な支援プログラムを作成、公表されているか。	8					
	12 様々なことに取り組んでアセスメントを実施している。こどもと保護者はニーズや課題を定期的に分析した上で、発達支援支援計画を作成しているか。	8					
	13 発達支援支援計画を作成する際には、発達支援支援計画の目的だけでなく、こどもの支援に関わる職員が協議することで、こどもの成長の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14 発達支援支援計画の進捗状況を確認し、計画に沿った変更が行われているか。	8					
	15 こどもの個別の状況や状態を、標準化されたツールを用いたフォームやアセスメント、日々の観察メモや個別のインフォームドコンセントやアセスメントを基とする形により確認しているか。	7	1				
適切な支援の提供	16 発達支援支援計画には、発達支援支援計画の「発達支援支援計画の目的や内容」(「発達支援」(「発達支援」(「個別支援」)及び「地域連携、地域連携」)のほかに「個別支援計画」)が記載されている。また、その内容、実施内容や実施方法、実施の頻度や実施場所等が記載されているか。	8					
	17 活動プログラムの内容をチームで行っているか。	8					
	18 活動プログラムが変更をしないよう工夫されているか。	8					
	19 こどもの状態に応じて、個別の活動と集団活動を両立させて実施する機会を確保しているか。変更が行われているか。	8					
	20 個別の状況に合わせた活動を行う予定が実行し、その実行されるまでの内容や変更の計画について確認し、チームで連携して変更が行われているか。	8					
	21 業務終了時には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りや今後の計画等を話し合っているか。	8					
	22 日々の支援に際して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげられているか。	8					
	23 定期的にモニタリングを行い、発達支援支援計画の進捗の必要性を確認し、調整を図りながら実施しているか。	8					
	24 障害児支援事業所のサービス提供会議や協議会との協議し、そのこどもの状況をよく理解した上で実施しているか。	8					
	25 地域の保健、医療(生活支援や医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8					
関係機関との連携	26 関係機関や関係機関と連携して支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その内容、実施内容や実施方法、実施の頻度や実施場所等が記載されているか。	8					
	27 関係機関との連携には、小学校や特別支援学校(小中併設)との間で、支援内容等の協議は頻りに行われているか。	8					
	28 (28-30は、センターのみ評価)						
	29 地域の他の発達支援センターや障害児支援センター等と連携し、連携の意向や内容について確認し、地域全体の取組と連携しているか。	8					
	30 関係機関との連携は、こどもの状況や状態やニーズや課題や課題の解決に向けて実施しているか。	8					
	31 (31は、事業所のみの評価)						
	32 地域の発達支援センターとの連携を促し、必要に応じてサポートやアセスメント等の実施を促しているか。	7	1				
	33 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	34 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	35 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2				
関係機関との連携	36 関係機関、支援プログラム、利用者の状況について丁寧な連携を行っているか。	8					
	37 発達支援支援計画を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの成長の利益を考慮した上で実施し、こどもと保護者の成長の利益を考慮した上で実施しているか。	8					
	38 「発達支援支援計画」を策定しながら支援内容の改善を行い、保護者から発達支援支援計画の進捗を確認しているか。	8					
	39 定期的に、関係機関から子育ての悩みや相談に関する相談に適切に対応し、相談や必要な支援と連携しているか。	8					
	40 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4				
	41 こどもと保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備することにより、こどもと保護者(関係機関)の悩みや申し入れの解決に迅速かつ適切に対応しているか。	8					
	42 定期的に連携を行っていることや、関係機関との連携を促すことにより、関係機関からの相談や申し入れの解決に迅速かつ適切に対応しているか。	8					
	43 個人情報(個人情報)に十分配慮しているか。	8					
	44 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	45 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
関係機関との連携	46 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	47 定期的に、関係機関から子育ての悩みや相談に関する相談に適切に対応し、相談や必要な支援と連携しているか。	7	1				
	48 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	49 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	50 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	51 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	52 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	53 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	54 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					
	55 関係機関との連携は、関係機関との連携や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジャックと豆の木 とよた		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和6年12月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	豊田市南部エリアに施設を構えた事で、今まで利用が困難だった利用者さんにも、通所サービスを提供する事ができた。今まで学校へ行けなかった児童も、受け入れを行った事で学校へ通える様になり、地域のニーズに答える事ができた。	送迎時にも楽しめるように、定期的にイベント送迎を行っている。 保護者さんや学校関係者の方にも好評をいただき、コミュニケーションの場が広がり、認知度も広がっている。	引き続き、保護者さんとの連携をこまめに図り、安全に医療的ケアを行っていく。
2	看護師が複数人在籍しているため、あらゆる医療的ケアに対応できている。	五感で楽しさを感じられるよう、さまざまな活動を取り入れている。季節を感じる事や話題の事に対しても興味を持てるように意識して取り組んでいる。	保護者さん、学校関係者、その他関係機関と情報共有し、児童全体像を把握し、より良い支援に繋げていく。
3	自宅・学校への送迎を担っており、看護師も同乗する事で車内での吸引や人工呼吸器管理などの医療的ケアにも対応する事ができる。	活動中の様子が一目で分かるよう、定期的に写真で伝えるようにしている。楽しい雰囲気やお友達の間わりも具体的に伝える工夫を行っている。	感染対策や防災訓練など、施設で行っている安全管理についても積極的に伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校へのお迎えが、豊田特別支援学校1校のみの対応となっている	周辺地域校への周知不足や具体的な送迎対応の困難さ	事業拡大
2	理学療法士・作業療法士が在籍していない事	理学療法士・作業療法士に対して、事業所での働き方や活躍の場があるという事の周知不足	求人募集 事業拡大
3	医療的ケア児を多く預かるため、活動時間の縛りが生じる。外出支援の機会が少ない。	1人1人に必要な医療的ケアの対応時間が異なるため、時間の調整が必要となる。	保護者さんに協力を得て、可能な範囲で医療的ケアの時間調整を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ジャックと豆の木 とよた						公表日	令和7年2月28日	
		利用者数 9人				回収数 89%			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8							
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8							
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8							
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8							
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1				
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8							
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8							
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8							
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5		1	2				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8							
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		3				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8							
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	1	3	2				
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8							
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	2		1				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1				
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1						
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		2				
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8							
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8							
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	8							
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	8							
	29 事業所の支援に満足していますか。	8							

